

八千代座公演プロデュース事業

肥後琵琶発祥350年記念

筑前琵琶筑後旭会創設10年記念 琵琶演奏会

此処に 琵琶あり

The spirit of the biwa
that lives in modern times.

この「此処に琵琶あり」は各種各流派会派の垣根を越えた琵琶の演奏会です。古き伝統が存続するからこそ改革が認識され、その積み重ねを後世に残すことが日本の豊かな文化形成に繋がると考えています。九州では初めての試みとなるこの演奏会が肥後琵琶発祥350年記念を冠して熊本県山鹿の八千代座で開催できることに万感胸に迫っております。皆様がたくさんのご協力と応援によりここまで歩みを進めることができました。改めて深く感謝を申し上げますと共に、ご来場の皆様の心に妙なる琵琶の調べが響くことを願います。

此処に琵琶あり実行委員会

会長 岩下 小太郎

演目

第一部 此処に琵琶あり

- 一、「狐葛の葉」 星沢 月若 口演／岩下 小太郎 筆記
肥後琵琶 岩下 小太郎
- 二、「武蔵野」 島津 日新齋忠良 作／作曲者不明
薩摩琵琶 上川路 龍聲
- 三、「貧女の一燈」 香月 隆作／中村 旭園 作曲
筑前琵琶 石橋 旭姫 × 山鹿 燈籠師 中村 潤弥
- 四、「巖流島」 飯田 胡春 作詞／中谷 襄水 作曲
錦心流薩摩琵琶 荒井 靖水
- 五、「道成寺」 玉川 教演 口演／後藤 昭子 筆記
肥後琵琶 後藤 昭子

《休憩十五分》

第二部 琵琶語り劇

- 序「壇ノ浦」 水木 洋子 作詞／鶴田 錦史 作曲
鶴田流薩摩琵琶 馬場 一嘉
- 創作琵琶語り劇「耳なし芳一」
錦心流薩摩琵琶 荒井 靖水
筑前琵琶 石橋 旭姫・原口 旭愛・梅田 旭希代
肥後琵琶 岩下 小太郎

肥後琵琶

国選択無形文化財(1973年)

江戸時代はじめ

盲僧と盲人の諍いあり。

肥後では肥後細川家の機転で

仏教から目の見えぬ男性の

互助組織当道座へと転身する。

浄瑠璃や説教節を琵琶語り、

かまと祓いなども行う。

此処に肥後琵琶あり。

岩下 小太郎

いわした ことろう

肥後琵琶乃会所属。2016年から肥後琵琶演奏家後藤昭子に師事。2020年より南関町地域おこし協力隊に着任し、肥後琵琶の資料の収集や整理を行う。2022年肥後琵琶を中心とした演奏会「妙音」、2023年肥後琵琶国選択無形文化財選定50年記念演奏会「幻妙」―新たな胎動―を企画運営。

後藤 昭子

ごとう しょうこ

肥後琵琶乃会所属。1983年から1992年まで故山鹿教演良之に肥後琵琶の手ほどきを受けるが、山鹿の体調不良により中断。当時練習の為に録音したテープを基に2008年より肥後琵琶の演奏と普及活動に励む。現代に生きる肥後琵琶を追求していく。

筑前琵琶

都が奈良から

京へと移る時代

筑紫太宰府に玄清という

目の見えぬ僧がいた。

四天王を祀り、琵琶を弾じて

地鎮陀羅尼経を唱え、邪気疫病を祓い清める。

この橘玄清法印の血脈が明治に花開く。

此処に筑前琵琶あり。

石橋 旭姫

いしばし あきひめ



筑前琵琶日本旭会大師範。1980年中村旭園に入門、9歳で初舞台をのみ、師のもと国内外にて演奏。2015年筑前琵琶筑後旭会を立ち上げ福岡県発祥の筑前琵琶の音を未来に繋げるため様々な演奏会を企画し種まき活動を行う。2022年第58回琵琶コンクール(日本琵琶楽協会主催)第1位、文部科学大臣賞・NHK会長賞受賞

原口 旭愛

はらぐち あきあい



筑前琵琶日本旭会大師範。TVで偶然目にした筑前琵琶の演奏を聴き、その音色に魅了され1997年に中村旭園師に入門。筑前琵琶の魅力伝え、繋いでいけるよう活動中。第59回琵琶楽コンクール3位入賞。

梅田 旭希代

うめだ あききよ



筑前琵琶日本旭会会員。幼少期に祖母が楽しそうに琵琶を弾いている姿をみてはじめることとなる。筑前琵琶『四絃の会』を開催し四絃や五絃それぞれの良さを伝える活動中。

琵琶と山鹿の伝統工芸の「コラボレーション」

山鹿 燈籠

木や釘を使わず、糊と手漉きの

和紙だけで制作される室町時代

から伝わる国指定伝統的工芸品。



中村 潤弥

なかむら じゅんや

平成元年5月11日生、山鹿市平小城出身。中学生の職業体験で山鹿燈籠の工房を訪ね、制作体験をしたことをきっかけに燈籠師を志す。高校卒業後、19歳で故・徳永正弘氏に師事。8年の修行を終え、27歳の時燈籠師となる。



薩摩琵琶

上川路 龍聲

かみかわじ りゅうせい



鹿児島県在住。鹿児島県指定無形文化財保持団体「薩摩琵琶同好会」龍洋会共研舎道場主宰。1995年より江戸以前より受け継がれてきた薩摩土風琵琶を継承。演奏は年3回鹿児島県で行われる薩摩琵琶弾奏大会をはじめとし、伊勢神宮をはじめとする神社仏閣で行われる奉納演奏や啓発活動を積極的にしている。

薩摩琵琶 錦心流

荒井 靖水

あらい せいすい



薩摩琵琶錦心流中谷派裏水会会員。6歳より祖父・中谷襄水、母・荒井姿水に薩摩琵琶の手ほどきを受ける。高校よりフルートを始め、1995年日本琵琶楽コンクールにて秀位入賞。現在、古典ならびに現代邦楽を軸にジャンルにとらわれず積極的に国内外で音楽活動をしている。CD、DVDの録音、PVへの出演、舞台での音楽担当も多数。作曲・編曲も多く手がける。

鶴田流 薩摩琵琶

馬場 一嘉

ばば かずよし



鶴田流琵琶奏者。1995年中央大学ミュージカルサークル劇団The座創設に参画。翌年同大学を中退しフリーの俳優として活動するも2004年息子の誕生を機に俳優活動を休止。同時に祖父鶴田形見の琵琶を手に岩佐鶴文氏に入門し今に至る。昨年より俳優活動も再開。「やむにやまれぬ蒼」150年後の「君へ」に西郷隆盛役で出演。2011年、2017年、2021年日本琵琶楽コンクール入賞。

源平合戦が終わり鎌倉殿の時代

宝山檢校は琵琶を弾じ

大海の嵐や荒波を鎮め、

無事に島津氏を薩摩の地へと導いた。

根付いた調べは

薩摩隼人の

士気を高め、

自己修養の礎となる。

此処に薩摩琵琶あり。

薩摩琵琶

